

# とうにうん

第43号 10年4月22日  
J R 東海 労 東 二 運 分 会  
責任者 庭山 義輝  
編集 教 宣 部

## 沖縄にも 鹿児島にも 日本に 世界に基地はいらない

米軍普天間飛行場の移転をめぐってあたかも、沖縄に米軍基地が有ることの責任が民主党にあるかのように言い、そして、鳩山首相の責任を問う声がマスコミを中心にして日本中を駆けめぐっている。確かに、「県外移設」を確定しきれないなかでの国民のイライラはあると思う。

しかし、私たちがもっとも注目しなければならないのは沖縄の米軍基地を認め、金を出し、密約を繰り返して丸ごと受け入れて来たのは紛れもなく自民党であったということだ。国民をだまし続けてきたことに民主党はメスを入れ、さらに沖縄だけの負担を何とかしなければ、と躍起になっているということにも注目しなければならない。

このままでは、自主憲法制定だとか憲法改正を声高に叫ぶ連中のたくらみどおり、日本が戦争を出来る国になってしまう。このたくらみは何としても止めなければならない。私たちの基本は、沖縄にも鹿児島にも、日本にも世界にも基地・軍隊＝戦争はいらないということであり、そのまた基本は、憲法9条を守ることだ。このことを大きな声として発信しなければならない。

## 戦前の過ち、繰り返すな

東京新聞「言いたい放談」より

少し前だが、東京新聞に俳優で作家でもある愛川欽也さんの投稿があった。一部を紹介する。「平沼さん、与謝野さんたちが新党をつくった。たちあがれ日本 という名前の党で、この名前は石原慎太郎都知事がつけたらしい。そして、この党の応援団長は石原さん。応援団には政策的に右と言われる方たちがいるようだ。その方たちは、憲法を改正したい方たちだ」—略—「だから国民が政治を信用しなくなっていて、閉塞感が充満する。そんな時いくつも政党が生まれると、勢いのすごい右の力が国民を引きつけはしないだろうか。かつてそうして生まれたのが日本の軍国主義だし、ドイツのヒトラーだ」と。

芸能界のことはよく分らないが、愛川さん、そんなに言い切って大丈夫ですか？ と心配になる。 が、戦前の過ちを繰り返さないために、共に闘う。